



三条学園 三条市立第三中学校 学校だより

希望の炎

令和3年度 第13号



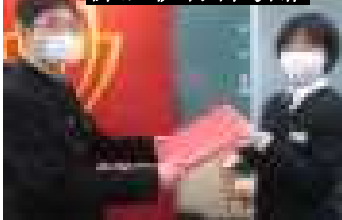
令和4年1月31日

秀峰会：後期生徒総会・令和4年度役員認証式・引継式

議長団あいさつ



新旧執行部引継



新秀峰会役員一同



1月28日(金)令和3年度秀峰会後期生徒総会、令和4年度役員認証式・引継式が行われました。

感染症対策のため史上初のリモート生徒総会でしたが、これまで講話会、学園スクール集会、朝会などもリモートで実施してきたスキルを活かし、秀峰会新旧役員が力を結集して、様々な工夫を重ねて実に見事なリモート総会の企画運営がなされました。

正副中央委員長の議長団による生徒総会では、現生徒会長が今年度の秀峰会活動の総括を述べるとともに、各専門委員長や各部の部長が議案に基づいて、活動の反省と提言を述べました。どの委員会も部活も具体的な反省点と改善点を明確にしており、実に建設的な議事となりました。そして、生徒会費会計決算を含めて全ての議案が無事承認されました。続く認証式・引継式は新執行部が運営し、新専門委員長が任命書を受け取り、新旧執行部、新旧専門委員長の引継が行われ、最後に新専門委員長が代表として決意表明を行いました。高山生徒会長が今年度のスローガンとして掲げた「RPG(ロールプレイングゲーム)～僕らが創る物語～」では、「仲間と協力して同じ目標に向かって頑張っている学校」という意味合いが込められており、それは生徒一人一人、全員が役割を自覚して行動することであったと思います。その意味でも令和3年度の秀峰会の活動ぶりは歴史に残る見事な活躍でした。新秀峰会役員始め、1、2年生会員の全員が今年度に負けない秀峰会作りをしてくれることを切に期待しています。

2学年：キャリア学習発表会

1月25日(火)第2学年は学園内小学5年生とリモートで結び、これまで取り組んできた「万屋(よろずや)プロジェクト」の発表会を行いました。万屋プロジェクトとは2学年のキャリア学習の一環で地域の職場、職業人から学ぶ取組です。ウイルス禍の制限が多い中、出会える職場も絞り込んで選択することを余儀なくされましたが、生徒たちはしっかりと「働くことの意義」「社会における職業の価値」「さらなる良さを追求する職業人の熱意」などを学びとることができました。御協力いただいた事業所の皆様、本当にありがとうございました。この発表会は個々の学びをさらに互いに学び合う取組です。さらに、小学生に向けて発表することにより、先輩としての自覚を高めながら、学んだ内容を分かりやすく発表する力をつけたことと思います。小学校の校長先生方からは、「発表は大変素晴らしく、児童も大変喜んでおり、勉強になりました。」とお褒めの言葉をいただきました



リモート全校朝会 校長講話 (1月24日 一部抜粋)

感染症の拡大が止まりません。全校生徒の皆さんも心配が尽きないことと思います。しかし必ずや収束する時が来ます。それまで多くの我慢をしなければならないこともあると思いますが、粘り強く耐えて行きましょう。

まもなく春がやってきます。これから綺麗な花も咲きます。梅が咲き、桃の花が咲いて、そして桜の季節にもなります。皆さんはこれらの花が美しく綺麗に咲く条件を知っていますか。それは、木々が冬の寒さにじっと耐えその体の中にエネルギーを蓄えることなのだそうです。耐えることが美しく咲く条件ということです。明けない夜はありません。季節も巡って必ず春が来ます。耐えながら待ちましょう。

さて、3学期は次年度への準備期間ということで、一人一人が自分のやるべきことを自覚し、目標をもって取り組んでいることと思います。今日は「努力すること」とについてお話します。私は子どもの頃から二十歳くらいになるまで努力することについて考えを巡らすことがよくありました。それは多くの著名な方々が努力とは何かということについて述べている言葉に出会う度に、それは本当だろうかと疑問をもつことがよくあったからです。例えば、「努力は人を裏切らない」とか、「努力は必ず実を結ぶ」とかという言葉です。それらの言葉がどうしても自分の中にすんなりと入らず、モヤモヤした気持ちを持ち続けていました。ところがある論説文を読んでいるとき、自分の中にすっと入ってきた表現がありました。

それは「努力というのはクモが巣を張ることによく似ている」という表現でした。クモは餌を確保するために巣を張ります。餌が目標です。その目標を確保するために巣を張るのですが、スカスカのクモの巣は糸の隙間から餌が逃げていくことが多いと思います。しかし、密度濃く張り巡らされたクモの巣は多くの餌を確保することができるでしょう。ただ、スカスカのクモの巣でも運よく餌がとれる時があれば、密度の濃いクモの巣であっても、餌が逃げることもあると思います。ですから、これだけやれば絶対に確保できる、という保証はないということです。しかし、どう考えても長い目で見れば、スカスカのクモの巣よりも密度濃く張ったクモの巣のほうが多くの餌を確保することは間違いないように思います。私は、この部分が実に正直な表現に感じて、私の心の中にしっかりと入りました。努力することとはそういうことなのだとも確信しています。

皆さんは今、自分なりのクモの巣を着々と張り巡らしているところです。たとえ、その時、餌がとれなくても、つまり、その時目標が達成できなくても、地道に着実に、諦めずに粘り強く自分なりのクモの巣を張り巡らすことを続ければ、やがて何かを獲得することができるのではないかと思います。そう考えると「努力は人を裏切らない」「努力は必ず実を結ぶ」という格言も、なるほどそうとも言えると思う気持ちになってきます。

明けない夜はありません。必ず春はやってきます。粘り強く、耐えながら、そして互いに声を掛け合って励ましあって、取り組んでいきましょう。

保護者の皆様へ ～新型コロナウイルス感染症対策への御協力に感謝申し上げます～

新潟県のまん延防止等重点措置適用に伴う、三条市立学校の特別な対応に御理解と御協力を賜り深く感謝申し上げます。特に、生徒本人のみならず、同居家族の発熱や体調が悪い時も登校を控えていただくことや、念のための抗原検査・PCR検査を受ける場合でも結果が出るまでは登校を自粛していただくなど、御負担をかける対応に丁寧に取り組んでいただいていることに厚く御礼を申し上げます。当面の間、何かと逡巡されるような場合もあると思いますが、学習内容の心配事についてはいつでも御連絡を頂戴し、対応を相談させていただきますので、何卒、御理解と御協力を引き続きお願い申し上げます。